

様式6〔申し合わせ事項 1-(5)、2-(5)、4-(4)〕

令和7年 8月 18日

東員町議会 予算決算常任委員会

大谷 勝治 委員長 様

東員町議会

議員 水谷 喜和

研修報告書

研修期間	<u>令和7年 月 日 (水)</u>
研修（視察）先	いなべ市役所
目的（テーマ等）	議会における施策評価・事務事業評価
資料添付の有無	有・無

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページにご記入ください。

研修概要、内容、所感

研修名 いなべ市事業評価研修

いなべ市議会議長 清水 隆弘

いなべ市議会副議長 予算決算常任委員会委員長 位田 まさ子

研修目的

- ・自治体が実施する各事業の成果や費用対効果を客観的に評価し、効率的・効果的な行政運営につなげる。
- ・市民への説明責任を果たし、透明性の高い予算編成・事業見直しの基礎を確立する。

研修内容概要

1. 事業評価の意義

- 財政制約下における優先順位付けの必要性
- 「事業の存続・拡充・縮小・廃止」の判断基準

2. 実践演習

- 実在する市事業を題材に、目的・成果・評価指標を整理
- 評価結果から改善案・再設計案をグループ討議

研修で得られた知見

- ・成果指標は住民満足度や社会的効果を把握できる。
- ・評価結果は市民や議会の理解を得やすくなる。
- ・事業評価は継続的に行う必要がある。

当課での活用方針

- ・市民向け広報誌やホームページで「事業成果の見える化」を推進する。
- ・

所感

下記に添付、行政運営シート分科会委員の評価を踏まえた分科会の項目評価

評価内容別に評価数各委員により記載されているが、分科会の評価としては多数決評価ではなく

評価の分科会評価に意見が多くあるが、意見としては尊重するが、合意形成して最終結論を出す評価方法に共感を覚える。

令和3年度決算審査における事業評価シート(分科会まとめ)様式3-2

事業名 行政運営の充実

1. 分科会委員の評価を踏まえた分科会の項目別評価

評価内容	評価基準	評価数	分科会の評価	評価コメント
市民(市)のニーズを把握した事業となっているか	①なっている(20点) ②どちらかといえばなっている(15点) ③どちらかといえばなっていない(10点) ④なっているとは言い難い(5点)	2 3 2 1	10 ○	元気みらい都市いなべ推進事業及びSDGs未来都市推進事業は、現時点で、市民に広く周知された事業になっていないため、市民のニーズを把握するに至っていない。
事業の課題、問題点を認識できているか	①できている(20点) ②どちらかといえばできている(15点) ③どちらかといえばできていない(10点) ④できているとは言い難い(5点)	1 6 1 1	10 ○	事業の課題、問題点を認識されるよう努めていると理解するが、いなべ市総合戦略事業取組経過報告書にあるように、元気みらい都市いなべ推進事業は、執行機関が本事業を評価するに至っていない。
事業に工夫(費用、効率・効果)は見られるか	①見られる(20点) ②どちらかといえば見られる(15点) ③どちらかといえば見られない(10点) ④見られるとは言い難い(5点)	6 1 1 1	10 ○	ふるさと納税返礼品を見直したことで効果は得られた。元気みらい都市いなべ推進事業については、事業の計画どおりに行かなかった部分があったにも関わらず、予算どおりの支出が執行された。
計画、ビジョン、施策等に見合った事業となっているか	①なっている(20点) ②どちらかといえばなっている(15点) ③どちらかといえばなっていない(10点) ④なっているとは言い難い(5点)	7 1 1 1	10 ○	ふるさといなべ応援事業は、想定を上回る実績を得られた。元気みらい都市いなべ推進事業は、目標及び計画が達成されなかった。
事業の成果	①成果がある(20点) ②どちらかといえば成果がある(15点) ③どちらかといえば成果がない(10点) ④成果があるとは言い難い(5点)	6 1 1 1	10 ○	ふるさといなべ応援事業は、当初見込みを上回る成果となつたが、元気みらい都市いなべ推進事業及びSDGs未来都市推進事業については、現時点で成果があつたとは言い難い。

本研修を通じ、事業評価は単なる経費削減の道具ではなく、限られた資源を最大限有効活用するための重要なマネジメント手法であることを再認識した。今後は評価を通じて、より効果的で納得感のある行政サービスの提供を目指す